

# 湘南才一夕ム杯

## 要綱



1:棋戦概要

2:申し込み細則

3:ルール

4:組み合わせ方法

5:反則

6:その他細則

## 1:棋戦概要

- ・本棋戦は期間前期8～11月までに行う。
- ・エントリーできる人は湘南将棋サークル会員のみとし、  
一般・体験の方は参加不可とする。
- ・予選期間は8月～10月の約2ヶ月 決勝期間は11月  
(12月までには終了)の1ヶ月で行う  
予選は総当たり戦による勝ち星が多い上位2名が勝ち抜け  
決勝トーナメントは4名によるトーナメント方式を採用する。
- ・普段の試合と異なる時間制(持ち時間10分、切れると1手30秒以内に  
着手)を採用する。

## 2:申し込み細則

- ・予選の開始は8月第2回目の例会からとする。初日は8月20日(日)
- ・上記期間内に申込書(別紙)を担当に提出する。

予定: 7月16日～8月6日までに対戦者の申し込みを募り、

8月第2回目の例会にて予定通りの進行を目指す。

- ・大会前の期間内にてチェスクロックの練習期間を設ける。
- ・本棋戦が始まる前に申し込み者を確定し、棋戦途中からの参加は  
不可とする。

## 3:ルール

- ・持ち時間制(10分、切れると1手30秒以内に着手) 平手での対局。
- ・時間内に指しきれなかった場合や、ボタンを押しきれなかった場合は負け。
- ・対局中の離席は1回までとする。なお離席中時間は止めない。
- ・先後決定は振り駒で行う。振り歩先は基本的に合意を得て振った側とする。
- ・立会人などは基本設けないものの、機械の動きなどを確認するため、開催期間初めは立会人を設けて対局を見届ける。
- ・対局者は原則話をしない。また、周りで観戦する場合、表情やアドバイスといったことは控えるようにする。
- ・普段の例会で行うスペースに別途対局場所を設けるようにする。
- ・対局前、対局後は礼をしっかりと行うようにする。

### 指し直し局の場合

- ①千日手→同局面が4回出たときに成立。両対局者の同意を得て、持ち時間を一時的に止める。その時間を引き継いだ形で先後を入れ替え指し直し局を始める。
- ②持将棋→お互い詰みがない局面で、得点が高い対局者から打診をし、持ち時間を一時的に止める。先後を入れ替え、持ち時間を引き継いだ形で指し直し局を始める。玉以外で飛車角→5点 残り1点で24点以上で成立

## 4:組み合わせ方法

・7月～8月吉日までに申し込んだ方を集約し、組み合わせ表を作成の上、大会を開始する。大会前に抽選(紅組、白組)を行い、組割りを行う。

8月6日予定

・現段階での組み合わせ予定(ものすごい数の申し込みがある場合は組を追加)

予選→紅組・白組 各ブロックで予選通過者2名を確定させる。予定表↓

紅組	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	
Aさん		○	○	○	3勝
Bさん	●		○	○	2勝
Cさん	●	●		○	1勝
Dさん	●	●	●		

各星取り表に関してはサークル内HPにて更新をしていく。

※1位や2位の勝ち数が並んだ場合は進出決定戦を再度おこなう

勝ち星が並ぶ数に応じて再度組み合わせ表やトーナメントを作成する。

(大会が進む行程で柔軟に対応していきます)

## 5:反則

・別の人に話しかける(指し手や形勢など対局内容に関するもの)

→対局を中断し、反則負けが確定する。

・周りから声をかける(指し手や形勢など対局内容に関するもの)場合

→声をかけた人の対局権利がなくなり、本対局は持ち時間、先後なども

含めやり直し局を実施する。

- ・二歩、駒のきかないところに指す場合、指した者は反則負けとする。
- ・着手に関しては駒を指して指が離れてから完了とする。その後に移動することは認められず、相手の指摘があった場合負けとする。

## 6:その他細則

- ・日時に際して

両者の合意を経て対局を行うが、記録の都合上事前に、原田ないしは山本さんまでご連絡ください。期間は2ヶ月設けますが、しばらく休んでしまうと大会運営に支障が出ますので、申し込まれる方は8月～12月にかけて比較的予定に余裕があるかたちでお申し込みください。組み合わせの数によりますが、運営する側で日時を折衝する場合があります。

- ・当日の対局に関して

どの時間帯で行うのも可です。ただ、対局を行う前にご連絡ください。対局時計の設定をいたします(原田まで)。対局時計の数は2台ですので、ときに重なる場合もあります。事前に折衝いたします。

- ・欠席・辞退に関して

予選の具体的日時は設けないのでお互いの合意で日時の変更は可です。

多くの方で行う企画になりますので途中辞退はなるべくお控えください。

- ・対局時計

→「シチズン ザ・名人戦 対局時計 DIT40」を使用予定

申し込み期間で対局時計の使用方法を確認する機会を設ける。

